



著者・イラスト 大野百合子

通訳翻訳を通して14年間、グリー氏をサポート。以来、さまざまな
練習についてグリー氏や他のスピリチュアルティーチャーから学
ぶ。自身も幼少の頃から神秘体験を数多く体験。その体験と自身
の学びを統合した講演、ワークショップ、個人セッションを行うと
ともに、執筆、翻訳、通訳、イラストライティングなど幅広い分野で活躍
中。

お金!もっとも身近で、意外に深くかつ複雑なテーマについてのお話。豊かになりたいとほとんどの人が思っている、そうではないのはどうしてでしょう。お金の流れを生活に呼び入れるには、まず流れを止めているものをどかすことが一番。そしてその後は、魔法の言葉を唱えましょう。

大野百合子 エッセイ

たかがお金、されどお金

Thoughts on Money



新年がスタートして1ヶ月、皆様の今年はどのようなトーンで始まったでしょうか? どんな風に2008年を過ごそうかと、自分自身のテーマや意図を設定なさいましたか? もしまだなら、今からでも遅くはありません。チャイニーズニューイヤーは2月初め。きちんと意図してスタートをきれば、この1年間の色調や音調が定まり、日常に共鳴します!

さて、今回のエッセイは、身近で深遠なテーマ「豊かさ」について。豊かさとはもちろん、心の豊かさ、物質的な豊かさのすべてを含みますが、ここでは「すばり物質的豊かさのポイントである「お金」についてお話を進めていきましょう。」

ちなみに、豊かさを現実化するワークショップや、お金持ちになる本などがあふれています。私もつい最近、『一生お金に困らない人のためのシンプルな法則!究極のミリオネア入門』(マイケル・ルポーフ著、ダイアモンド社)という億万長者になる方法が書いてある本を手にとる機会がありました。タイトルはちよつとすごいです、こういう自己啓発を下地にした情報は、意外に「アトランティスの叡智」の現実化の手法の二側面を踏襲していることがあるのです。しかもとても実用的なレベルで。

まず「と誘導するのです。」

結果は笑えるくらいおもしろいものでした。ある方は、ドアから清貧のお坊さんが入ってきました。べたべたの泥饅頭が入ってきて足元をすくわれた人もいれば、たくさんの金貨がドアの外に山積みになっているのだけれど、どうしても中まで入ってこない人、また緑色のがま口をしたガマガエルがびんびん入ってきた人もいました。

潜在意識は実に正直で、夢で出会うようなシンボリックな情報を心の表面に浮かびあがらせてくれます。瞑想ではそのシンボルを自己のひとつの側面(サブパーソナリティ)ととらえ、泥饅頭ならその饅頭自身と話し合つのです!すると泥饅頭は、「やめたほうがええでえ。汚れてしまっわ。心の自由もなくなるし」なんてことを話してくれました。そこで相手ときちんと話し合えば、自分が何をおそれているのか、何が物質的豊かさをブロックしているのかが明確になります。つまり、お金の流れを止めている自分の深い葛藤が見えてくるのです。本当に、変性意識状態って便利!

潜在意識には、過去世からの思い込みや「これからは、不幸を招く富なんぞ決して持たないぞ」などの「誓い」が入っているからややこしい。清貧のお坊さんは、過去世の自分かもし

ルポーフは、まず「他人が期待する生き方ではなく、自分が望む生き方を選択すること」。次に、「夢をえがき、目標を設定して、行動すること」と書いています。なかなかいいなと思ったのは、日常から離れ、まるでアメリカインディアン
の儀式的ビジョンクエストのように、ひとりの時間と空間を確保して「自分の人生で本当に手にいれたいものは何か。欲びをもたらずものは何かを問いかけて」と提案していること
です。

「創造のしくみの中では、潜在意識と顕在意識が葛藤なく、心から望んだことは必ず現実化する」とアトランティスの叡智は明確に教えています。

お金 お金、お金...みなさんはお金についてどのようなイメージを持っていますか。もちろんたくさんあるに越したことはないと思う人もいます。でもお金と自分との関係について、本当に時間をとって、じっくり考えたことはありますか。

私のワークショップで、おもしろい誘導瞑想をしたことがあります。まず、リラクセスした後、お気に入りの部屋にいる自分自身をイメージしてもらいます。次にその部屋のドアから、「あなたにとってお金を象徴するエネルギーが入ってき



れず、彼は「お金は霊性の開花を邪魔するぞ」とがんこに思い込んでいたりするのです。もしあなたが「冴越しの金はもたねえ江戸っ子タイプなら、その態度によって何を求められるのか、何を避けようとしているのかを見るのが興味深いかもしれません。

お金に関わる自分の意識パターンを理解する…。まずは流れを止めているものに気づくことが第一ステップです。気づけば反射的反應ではなく、行動や考えの選択肢が広がっていくからです。確かにお金に関するカルマも存在します。カルマにはポジティブなもの、ネガティブなもの、ニュートルなものがあり、ポジティブなカルマであれば、あまりがんばらなくても、豊かさに恵まれます。ネガティブなカルマは、どこかの転生で人からお金を盗んだり、搾取したりした後に罪悪感を持つと発生します。今世で、もしだまされて損をするようなことがあったら、なかなかそうは思えないでしょうが、「でもこれでカルマをクリアした！」と思えば、ちよつとは気分が楽になるかもしれません。

ともかくサバイバルを目的に、社会意識の制約を受けた身体意識のみによって日常を送っている場合は、カルマに大きく左右されてしまいます。でも受けた教育も含め、自己の内面を掘り下げて自分が豊かになることに対する葛藤をなくせば、お金は確実に流れてくるのです。

今までの体験上、代表的な葛藤の例をあげてみましょう。

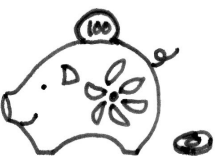
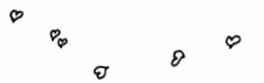
クロソフト出身の、途上国の現地コミュニティと協力し、学校など教育施設を設立する団体「Common Road」の代表ジョン・ウッドなどは、豊かさを社会に還元しているモデルケースだと思えます。

グリーは「お金は手に入れるよりも、どのように使うのかの方がよっぽど難しい」と言っています。豊かさを手にいれた後、それをいかに使うか、要するに使い方で含めて、豊かであるかどうか判断されるでしょう。

単にお金を消費するのではなく、深い意味でそれが生み出す価値に投資せよということですね。

では、お待ちかねの実際に私が体験し、しかも有効だったお金を引き寄せる方法を公開したいと思います。ここでは3つのシンプルな方法をお伝えします。全部に共通することは「お金がだい好き！」って心から思うことです。私たちだって、大好きって言われたら、悪い気はしないでしょう??

その一 自分どころに来たお金(お札)を両手に挟んで、まず「大好き」と唱え、その後、いろいろな思いのこもった福沢さんや新渡戸さんをヒーリングします。そして、次の人のところに行ったら、その人にも喜びをもたらしますよ!と祈ります。



● お金は汚れたものであるとの概念。お金にまつわる搾取や強欲のイメージ。

● 執着の象徴としてのお金のイメージ。霊性と相反するものとしてお金をとらえること。

● お金があると、人を信頼できなくなるというおそれ。

● お金を得るためには、忙しくなり時間の自由がなくなるかもしれないとおそれ。

● 自分は受け取るだけの価値がないとの思い込み。

中でも最後の、「自分の価値」の問題は大きい。

ここで問題です。私たちが構成する魂意識と、身体意識のふたつの意識のうち、「受け取ることを司っているのはどちらだと思いますか?」そして「与えること」は?

実は、受け取ることを司っているのは魂の意識なのです。自分という存在は、「存在しているだけで価値があることを知っている部分」。

お金をシンプルにエネルギーととらえ、豊かさを意図して魂の意識とのつながりが深くなればなるほど、私たちは現実的に豊かになっていきます。そして、ここからそのお金を人のために役立てたいと思うよ!になるのです。ビルゲイツや、同じくマイ

その二 自分にとって、豊かさの象徴になる香りをひとつ決めます。シトラスなどの自然の香りでも良いですし、香水や新車のベンツの香りでもかまいません。そして、1日に何度か、実際にその香りをかきながら、「これはお金の香り。お金の香り大好き!」と声に出して唱えます。

その三 これは究極!のマントラ。一番効果があるのは、鎌倉の銭洗い弁天など、弁天様のごころにまずお参りしましょう。そこで、お金をお水で洗いながら、「さんざらぎらめる」と唱えます。この音が大切。意図さえきちんとして設定すれば、おうちの水道でも大丈夫かも!

葛藤がそれほどなければ、今年あなたはもうミリオネア?

ミリオネアは贅沢を買うのではなく、自由を買うのだ

マイケル・ルポーフ